

経営比較分析表（令和4年度決算）

高知県 四万十町

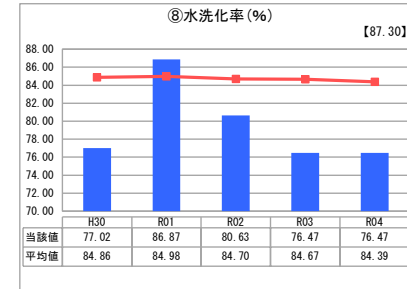
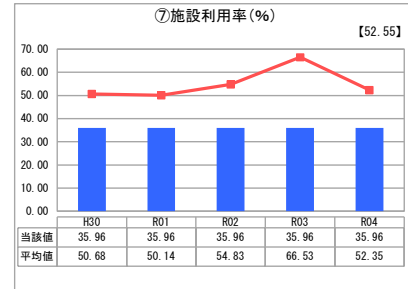
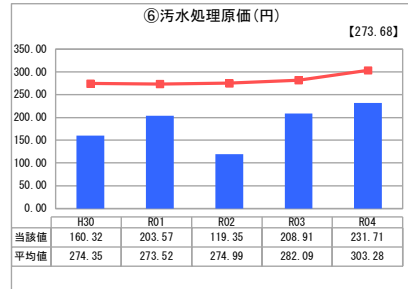
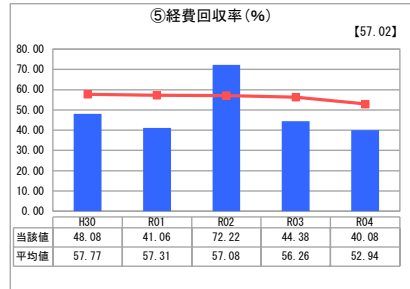
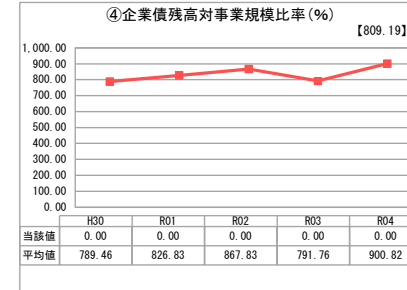
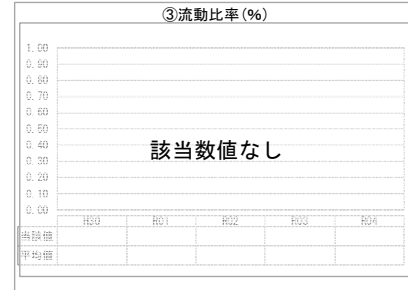
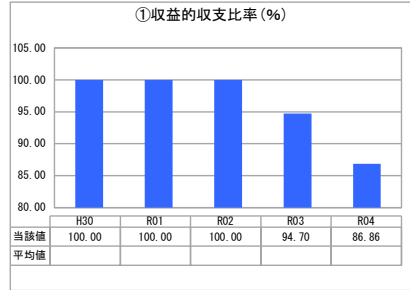
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.07	100.00	2,610

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,761	642.28	24.54
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
323	0.24	1,345.83

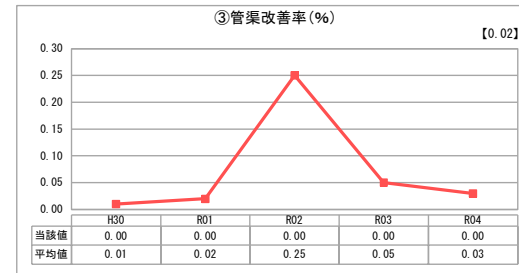
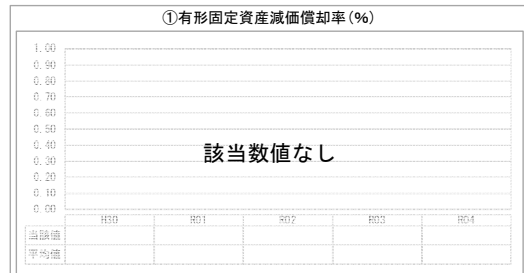
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- [] 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

四万十町の農業集落排水施設は2か所あり、2か所とも処理場および管路は整備済みである。現在の主な支出は建設時の起債の償還と機器の修繕費が主となっている。

今後は老朽化した機器の更新が必要であるが、使用料収入の増加は見込まれないことから、国庫補助事業（農山漁村地域整備交付金）を活用しての整備計画策定や修繕が必要となると考える。

令和3年度以降は機器の修繕が必要となっており、汚水処理原価が高くなり、経費回収率も減少している。収支不足は他会計からの繰入金に依存しており、今後も修繕が多くなってくることから、料金改定を視野に入れた見直しが必要と言える。

2. 老朽化の状況について

町内の農業集落排水施設は宮内地区が平成13年より、江師地区が平成9年より稼働しているが、近年設備の不具合が徐々に発生している。水処理の要となるポンプやブローアについては、町の単独費で修繕・交換をしているが、機器類の老朽化により突発的に機器が作動しなくなる恐れがある。

そのため令和元年度に策定した最適整備構想をもとに、計画的に修繕・交換等を行い機器の更新を行っていく予定である。

全体総括

面的整備が完了していることから、今後も維持管理を適正に行っていくとともに、より一層の経営の健全化に取り組んでいく必要がある。

また、施設の最適化構想を基に老朽化した機器等の更新や点検修繕を適切に実施し、より確実な水処理を目指し、町民の生活環境の向上に努めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。